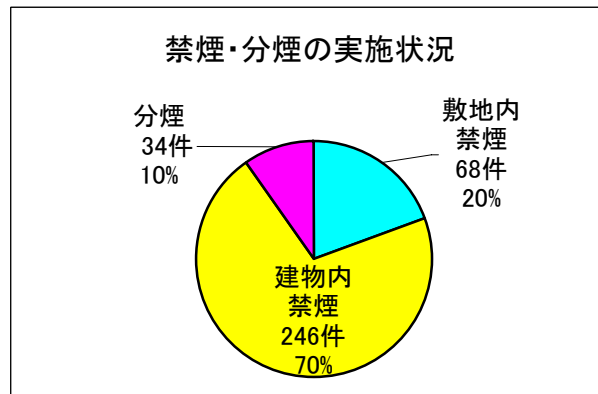


おいしい空気の施設登録施設(飲食店)における受動喫煙に関するアンケート調査結果の概要

1 施設の禁煙・分煙の状況について【問1】

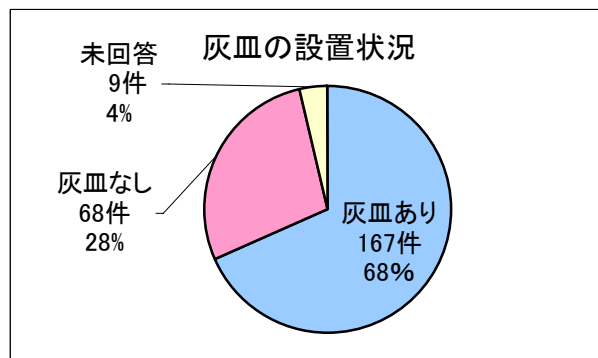
① 禁煙・分煙の実施

アンケートに回答のあった施設のうち、敷地内禁煙を実施している施設が68件(20%)、建物内禁煙を実施している施設が246件(70%)であり、敷地内または建物内で禁煙を実施している施設は合計で314件、全体の90%であった。



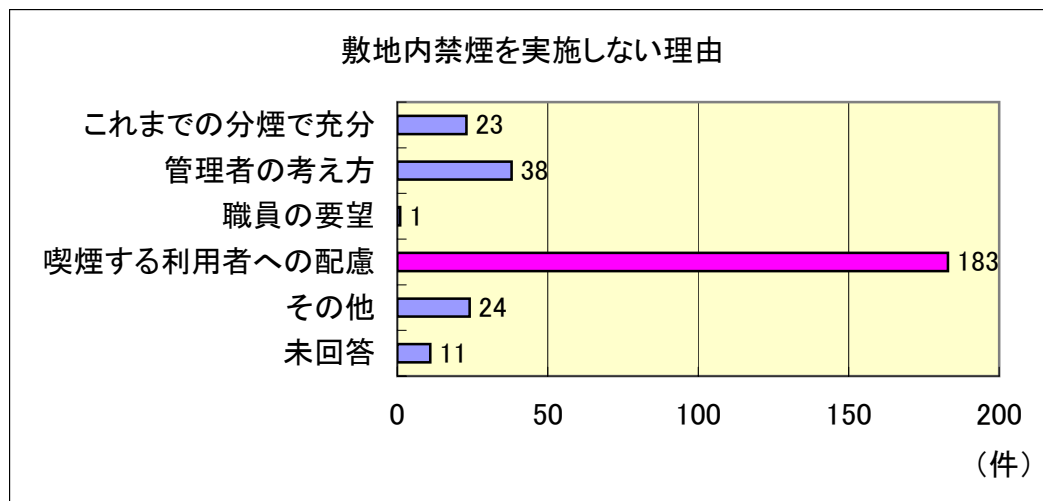
② 灰皿の設置状況

建物内禁煙実施施設の灰皿の設置について、建物外へ灰皿を設置している施設は167件と、およそ7割の施設で灰皿を設置している。



2 敷地内禁煙を実施しない理由について【問2】

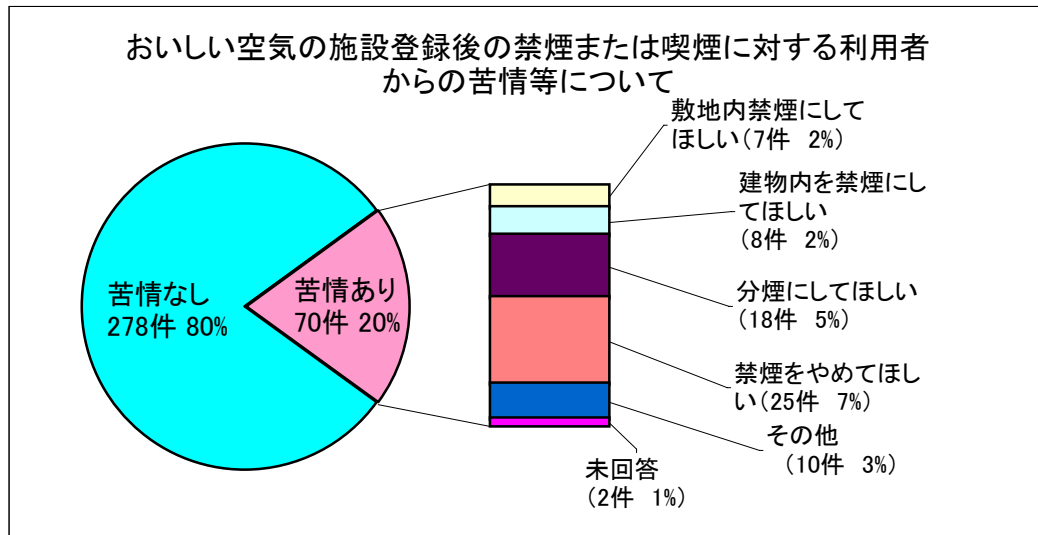
建物内禁煙施設及び分煙施設において、敷地内禁煙を実施しない理由として最も多かったのは、「喫煙する利用者への配慮」で、183件(75%)にのぼった。



3 おいしい空気の施設登録後の禁煙または喫煙に対する利用者からの苦情等について【問3、問4】

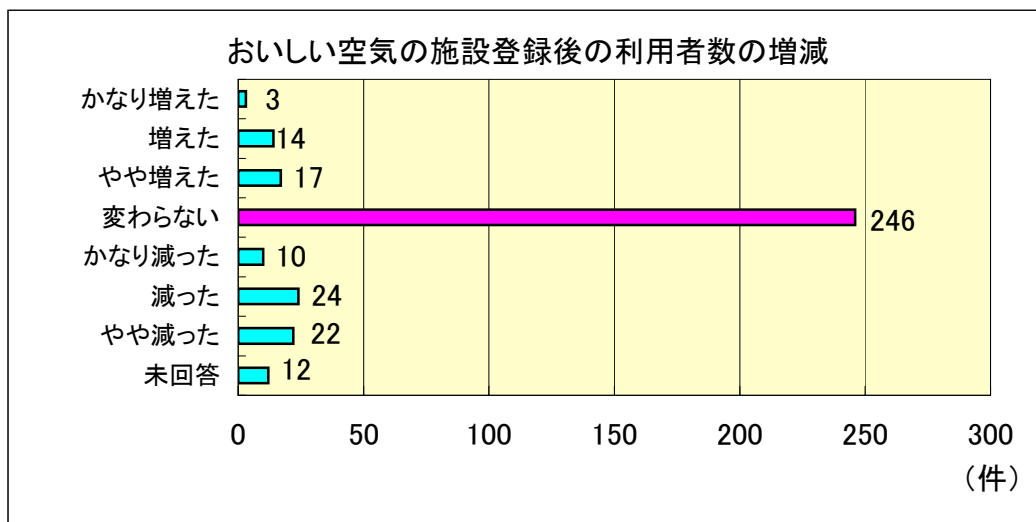
苦情等のない施設が278件と、全体の80%を占め、おいしい空気の施設登録後において、多くの施設利用者に禁煙又は喫煙に対して理解をいただいている。

なお、苦情ありと回答した施設のうち、喫煙を望む回答(分煙にしてほしい、禁煙をやめてほしい)は約6割であった。



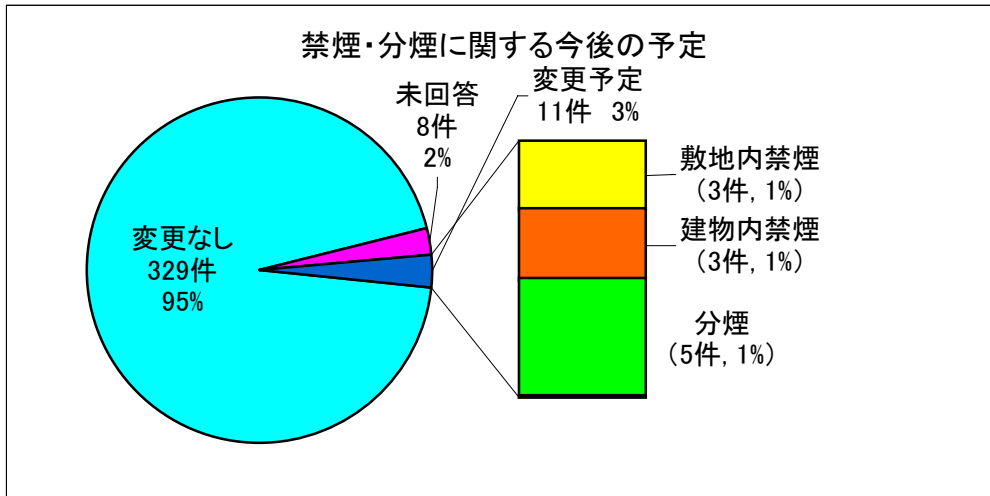
4 おいしい空気の施設登録後の利用者数の増減【問5】

おいしい空気の施設登録後の利用者数については、「変わらない」が最も多く、246件(71%)であった。また、利用者数が増加した施設は34件(10%)であったのに対し、減少した施設は56件(16%)であった。



5 禁煙・分煙に関する今後の予定について【問6】

禁煙・分煙に関する今後の予定について、329件(95%)の施設で変更の予定はない。また、変更予定のある施設11件のうち、禁煙又は分煙をとりにやめる予定の施設は0件であり、禁煙・分煙化へ理解をいただいていることがわかった。



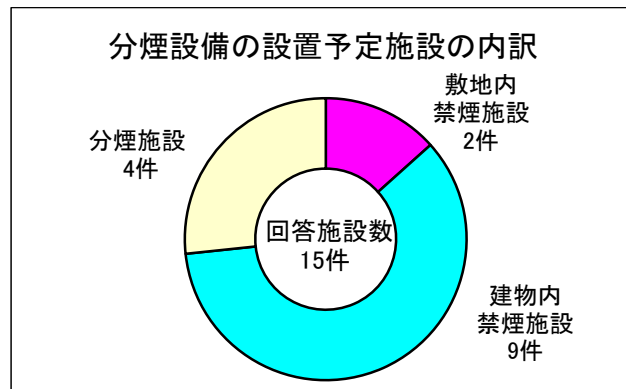
変更予定ありと回答した施設の現状の取組と変更予定一覧

現 \ 予	分煙	建物内禁煙	敷地内禁煙
分煙	—	2	—
建物内禁煙	4	1 ※	3
敷地内禁煙	1	—	—

※ 別棟施設の建物内禁煙化等を含む。

6 分煙設備の設置予定について【問7】

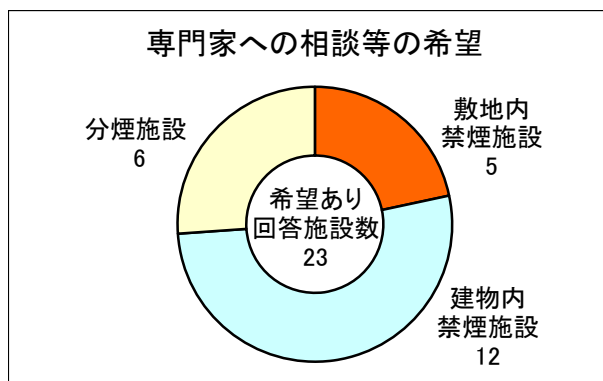
今後、分煙設備を設置する予定のある施設は15件(4%)と少数であり、その内訳は敷地内禁煙施設2件、建物内禁煙施設9件、分煙施設4件であった。



※ 他店舗を開店させる場合等を含む。

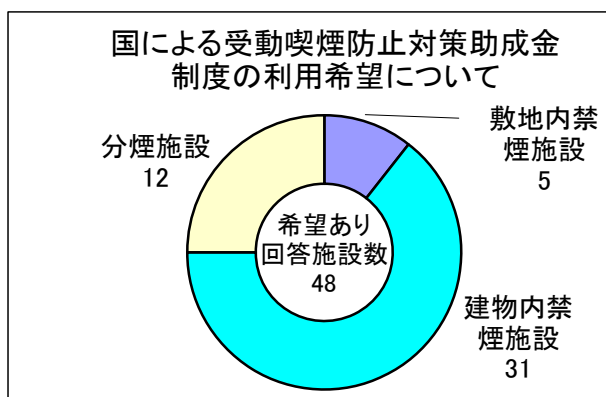
7 専門家への相談、粉じん濃度や換気装置の風速の測定について【問8】

専門家への相談、現状の粉じん濃度や換気装置の風速の測定をしてみたいと回答のあった施設は23件(7%)であり、その内訳は、敷地内禁煙施設が5件、建物内禁煙施設が12件、分煙施設が6件であった。



8 北海道労働局による受動喫煙防止対策助成金制度の利用希望について【問9】

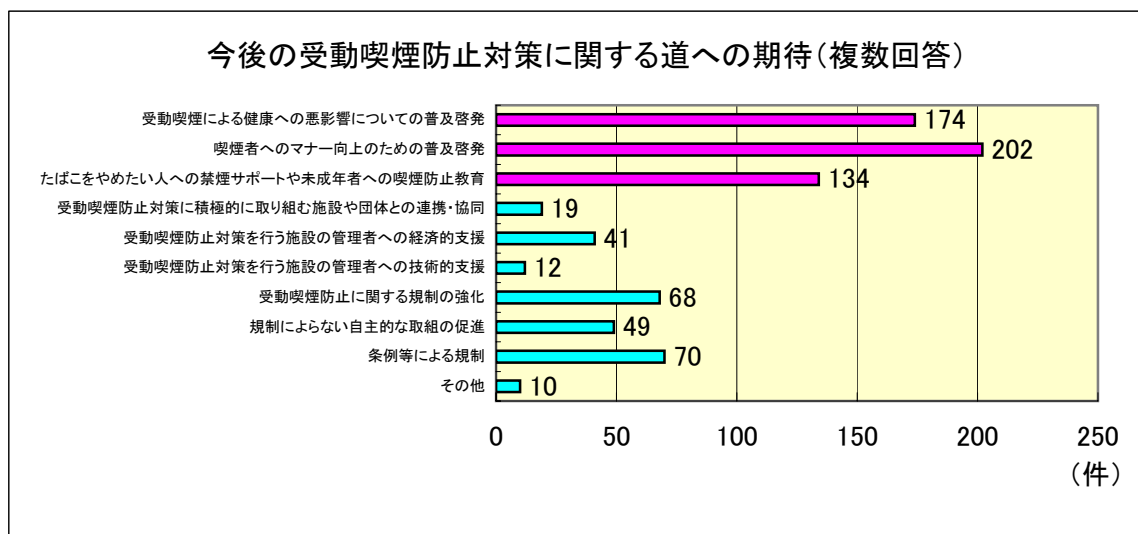
北海道労働局による受動喫煙防止対策助成金制度の利用を考えている施設は全体の14%、49件であり、施設ごとの内訳は、敷地内禁煙施設が5件、建物内禁煙施設が31件、分煙施設が12件であった。



9 今後の受動喫煙防止対策に関する道への期待【問10】

道に期待する取組として最も多かったものは、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」で202件。次いで多かったものは、「受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発」の174件であった。これら上位2件はともに回答施設数の半数を超えた。

また、規制に関する項目である「受動喫煙防止に対する規制の強化」「条例等による規制」はそれぞれ約70件、全体の約20%であった。



10 受動喫煙防止策についての意見、提案など（自由記述）【問11】

意見の趣旨	件数	主な意見
喫煙・受動喫煙による健康被害、喫煙マナーの普及啓発	9件	・たばこの害について、もう少し啓蒙することが大切かと思えます。(妊婦さん・育児中のお母さん・未成年者など) ・本人よりも家族や子供への影響や店舗等の従業員の健康被害の啓発
未成年者の教育、喫煙防止に関する意見	3件	・中・高校生への喫煙防止教育。早いうちに喫煙の害を啓蒙し、タバコを吸わせないことが大切だと思う。
法律、条例等による規制の強化に関する意見	11件	・禁煙をしているが、建物内すべてに目が届かないため、隠れて吸っている者がいて、火災や火の始末が心配。禁煙施設内での喫煙を法的に禁止してほしい。 ・飲食店や公共施設での禁煙の法律または条例の制定を早急にしてほしい。
たばこそのもののあり方	6件	・百害あって一利なし。タバコそのものを失くした方がいいのでは。 ・たばこをいつでも購入できる状況が問題だと思う。
禁煙・分煙のあり方	9件	・大人、子供、喫煙者、非喫煙者等それぞれの立場等でとてもむずかしいことです。子供に説明した時とても困ったことがあります。 ・私自身禁煙者ですが、お客様の立場を考慮すると受動喫煙防止策の強化が果たしていかなるものか、とも思います。
財政的支援について	5件	・完全禁煙を実施している管理者への報奨金などをして経済的な支援を行ってほしい。
行政の取組について	8件	・禁煙の店だからとわかって訪ねて来て下さるように力を貸してほしい。 ・北海道は本州に比べると取組が遅れているので、もう少し本腰を入れて全館禁煙店を増やすべきである。
施設の現在の取組	6件	・開店時から禁煙。 ・禁煙をすすめていきたいです。
施設利用者の反応	6件	・禁煙にして、今のところ困ったことはない。店内禁煙の表示で、来客及び店員の協力を得ている。 ・苦情は直接入らないが、禁煙を知り帰る客はいる。
総合的なたばこ対策	4件	・禁煙にすると売り上げが減っている経営者の声を良く聞く。禁煙したことによって、店の内部の汚れが減るとか、経営者自信の体調が良くなったり、閉店後の小火の心配がなくなるなどメリットをもっと訴えるべきだと思う。
その他	8件	・もっと禁煙施設が増えることを望みます。 ・受動喫煙防止で、分煙することは素晴らしい事だと思いますが、喫煙者も健康のため、卒煙出来ますことを望んでおります。
合計	75件	